

1 播種時期と収穫時期

- ・トンネルマルチ栽培
3月下旬～4月上旬は種
7月上旬収穫（播種後90日位）



- ・マルチ栽培
4月上旬～4月下旬は種
7月下旬収穫（播種後85日位）



2 品 種

ピター235、キャンベラ 86、
カクテル 600、味来 390

3 播種準備

- ・a 当たり堆肥 100 kg、苦土石灰 10 kg を施用した後、施肥料は成分量で窒素 2.1 kg、リン酸 2.8 kg、加里 3.3 kg とします。例えば a 当たり元肥に燐加安 42 号 10kg、追肥に同肥料 4kg を施用します。
- ・畦立て、マルチ張りはマルチ幅 70 cm、条間 45～50 cm、株間 27～30 cm とします。通路は 70 cm です。

4 播 種

- ・一穴に 2～3 粒、深さ 2 cm に播種し均一に覆土します。土が乾いているときは灌水をします。3月下旬～4月上旬の播種では、播種後にトンネル被覆を行います。トンネルを行わない場合は、発芽するまで不織布などを被覆しておくことと鳥害などが回避できます。

5 栽培管理

- ・本葉 3～4 枚までに一本立てとします。残す株を痛めない様に、鋏などで切ります。
- ・欠株の補填用にあらかじめ箱播き、目立ちしたものを準備しておくといいです。
- ・除けつは乾燥地では葉が多いと、蒸散に対して土中の水が足りないの、特に晩生種を用いるときは、始めに出た分けつのみ 5～6 枚時に鎌で取ります。通常は行わない方がかえって収量が多くなります。
- ・塾期の判定は、は種後 90 日前後で、雌花が出てから 20～25 日後で雄ずいが多少おれ、褐色になった頃で、穂の皮をむき果粒の色がよく出ていて、つぶすとミルク状の時が適期です。

6 病虫害防除

- ・アワノメイガやタバコガの食害が多く発生します。
 - ・雄穂がスタートしたらアワノメイガ対策が必要です。若齢幼虫が出穂まもない雄穂に食入します。そのため雄穂を早くに切り取ることで、被害を軽減させることも出来ます。
- 参考文献：神奈川県野菜優良種導入指針、神奈川の野菜、これから始める野菜栽培